

今回、口蹄疫対策に関する緊急決議を採択させていただきました。  
これは、まず経済的・精神的に困窮している宮崎の農家を何とか救済したいという、強い想いを表したものです。また本町で畜産を営む農家においても、不安な日々をすごされておられ、早急な対応が求められています。  
また、口蹄疫は畜産農家だけの問題ではなく、すでに周辺産業にも大きな被害を及ぼしており、それだけでなく日本国の経済にも多大な損害となります。  
能勢町議会は、この国家の大きな問題を早急に終息させ、また被害に遭われたすべての方々への速やかな救済を行うことが、国益となると信じ、この決議文を採択したものです。  
決議の翌日、大阪府に決議文を提出し、対策について協議いたしました。



## 口蹄疫対策に関する緊急決議

本年4月、宮崎県で発生した家畜伝染病「口蹄疫」に対し、現在、関係自治体や関係機関・団体が懸命な防疫対策に取り組んでいるが、いまだ終息の兆しは見えず、さらに感染が拡大している。

今回の事態により、殺処分や移動制限区域、搬出制限区域に指定された畜産農家に与える経済的損失には多大なものがあり、家畜市場への出荷中止などによる地域経済に与える影響も甚大である。

さらに、口蹄疫の広がりを受け、農畜産物に対して、風評等による取引制限の動きも出ていることから、消費者等に対する正確かつ適切な情報提供も強く求められているところである。

よって、本町議会は、下記事項につき早急に対策を講ずることを強く求める。

記

1. 防疫体制の強化を図り、感染拡大の防止に万全を期すこと。
2. 被害を受けた畜産農家及び関連産業の損失を補填するとともに、経営の再建・安定のために万全の措置を講ずること。
3. 関係自治体を実施する事業に要した費用については、十分な財政支援措置を講ずること。
4. 風評被害の防止対策を徹底すること。

以上、決議する。

平成 22 年 6 月 17 日

大阪府能勢町議会

あて先 内閣総理大臣、農林水産大臣、財務大臣、大阪府知事

6月初旬に、小学校区ごとに学校再編整備に関する住民説明会が開催されました。  
議員も多数説明会に参加しましたが、住民の十分な理解が得られたとは言えないと判断し、町に対して以下の決議を賛成全員で可決いたしました。



## 学校再編整備に関する決議

平成21年11月、能勢町教育委員会は、「能勢町学校再編整備に関する基本方針」を決定し、これを受けて府民牧場用地を候補地として、小中学校各1校をここに建設をする「学校基本構想」が策定された。

これに基づき、町当局は、6月初旬から各小学校区単位で説明会が開催され、初めて町民の方々に、詳細な説明がなされた。

この説明会は、町民の関心が高く、多くの方々が出席されて意見を述べられ、主に、再編を疑問視する意見が多く出たが、小数ながら賛成の意見もあり、賛否両論であったと思われる。

また、本町の将来のまちづくりについても多くの意見が出たが、誠意ある回答がなされておらず、今回の説明会では十分な理解が得られたとは思われない。

よって今後は、町民の方々の意見を聞く場を自ら設定し、誠意を持って丁寧に説明をすると共に、真摯に意見を汲み上げて、今後の再編計画に反映させることを強く求める。

以上決議する。

平成 22 年 6 月 23 日

能勢町長様  
能勢町教育委員会委員長様

能勢町議会